

2022. 2 月のブルーベリー農園その 1

標高 400mほどのところにあるブルーベリー農園（東広島市豊栄町）。去年の冬はほとんど雪が積もらなかったが今年 2 月は少し積もった。農作業で出会うランダムな農園の

目や耳に入る自然の息遣いを並べると。→→剪定中小鳥が 10 数羽やってきて枝から枝へ移動しながら去っていく。トンビが上空を飛び、カラスは怖いのか数十羽集まって電線にとまっている。帰り道車の前をキジがさあっと横切る。雪が 2 日とも降り昨日作業した足跡が雪にかき消される。



2月2日（水）は休みを取って一人農園に行く。

① 1月30日にバケツに入れていたブルーベリーの挿し木用の穂木が氷に囲まれていた。



② 畑の防鳥ネットの柱の補強で支柱を立てた。



③ 支柱に使ったのは里山の竹の伐採で出た竹で、単管パイプ用のクランプの径にちょうど合う竹を選

んで使った。防鳥ネットを張るのは夏の 1 か月ほどの期間なので強度的には多分これで十分？



④ 懲りずにブルーベリーの枝を燃やした熾火で焼き芋を作る。夕ご飯でしっとり甘い食感を楽しめた。



2月5日（土）。農園には雪が 5 cm位降った。



里山の周囲は風も強く地面に降った雪が舞う。



雪なので野焼きはなし。時折降る雪の中でブルーベリーの剪定を続ける。



青空がのぞいたり、雲が覆って暗くなったりの不安定な天気作業する気分がくじけて、1時間余り作業して早じまいをした。



枯れて枝と種を残した雑草が雪をバックに浮き上がる。



寒々とした雪景色の中のナンテンと雪の紅白が慰め。



2月6日(日)。この日も前日に続き雪が5cm位降った。午後からブルーベリーの剪定を続けたが雪が舞うし、

2022年2月8日
社会福祉法人安芸の郷
理事長 遊川和良

